

令和〇年〇月〇日

医療法人〇〇会 本院 栄養科長 様

栄養科 〇〇〇〇

研修報告書（栄養士・医療職用）

このたび、下記のとおり管理職研修を受講いたしましたのでご報告いたします。

記

- | | |
|------------|--|
| 1. 研修名 | 臨床栄養ケアとチーム医療の実践研修 |
| 2. 研修形式 | オンライン（Zoom 利用） |
| 2. 実施日 | 2025 年 9 月 8 日～9 月 9 日 |
| 3. 主催・講師 | 公益社団法人 日本栄養士会 管理栄養士 山本美由紀 氏 |
| 4. 研修目的 | 医療現場における臨床栄養ケアの最新知識を学び、患者一人ひとりの生活背景や疾患特性に応じた食事計画を立案できるようになることを目的とする。併せて、多職種連携（医師・看護師・薬剤師等）における管理栄養士の役割を再確認する。 |
| 5. 主な研修内容 | <ul style="list-style-type: none">・栄養ケアプロセスの実践（アセスメント・診断・実施・評価）・チーム医療における情報共有の基本と多職種連携ケース・慢性疾患別 栄養管理（糖尿病・CKD・高血圧）・医療安全と倫理的配慮に関するグループディスカッション |
| 6. 学び・気づき | <ul style="list-style-type: none">・栄養ケアプロセス（NCP）を正確に回すためには、「栄養診断の一文を明確に書くこと」が要であることを学んだ。・「栄養評価→介入→再評価」を記録する重要性を再認識。・多職種連携を行う上で、医師や看護師の視点だけでなく、栄養士として患者生活全体を見渡す観点が必要であると感じた。・グループ討議では、病棟間で共有するツール（栄養ケア計画書・カンファレンスシート）の統一がコミュニケーション改善の鍵になると学んだ。 |
| 7. 今後の活用計画 | <p>1.病棟カンファレンスで栄養士発信の情報共有シート（簡易フォーマット）を導入し、症例別に活用する。</p> <p>2.外来患者栄養指導では、患者の「嗜好・食習慣」に基づいた現実的な提案型指導（カウンセリング型）を意識する。</p> |

- 3.チーム内で『食形態と嚥下レベル対応表』を共有し、新任職員へのOJT教材として転用する予定。
8. 成果・課題 今回の研修では、栄養評価を「数値中心ではなく生活背景と意欲面とセットで捉える」視点を得た点が最大の成果である。
一方で、実際の現場では介入期間が短く栄養診断の更新が滞る課題がある。今後は週次での介入レビューを行い、継続的な改善サイクルを確立したい。
9. 感想・所感 講師の山本氏が示された「管理栄養士も“チームケアの発信者”である」という言葉が印象に残った。他職種への確に情報を伝える力を磨くことで、患者支援の成果をさらに高めたい。
今回得た知識と学びを共有するため、院内ミーティングで要点を報告し、部署全体のスキルアップにつなげていく。
10. 添付資料
- ・配布スライド『チーム医療における栄養士の役割』（講師資料抜粋）
 - ・症例演習ワーク記録（アセスメント計画票）
 - ・研修アンケート結果サマリー

以上